

野生動物関連 4 学会・合同企画シンポジウム

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に寄せる期待と展望
～～～ より実効的な野生動物保護管理の運用に向けての提言～～～

開催趣旨：

平成26年5月、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」の改正案が可決され、平成27年度から「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（以下、鳥獣保護管理法）」として施行されることになりました。この法律には、野生動物との関わりが深い研究者から出されてきた提言等が反映され、実効性に大きな期待が寄せられています。その一方で、適切な運用体制をとらなければ、これまで以上の混乱が予測される案件も含まれております。

そこで、日本哺乳類学会、日本霊長類学会、日本野生動物医学会、「野生生物と社会」学会の4学会は、新たなスタートを切る「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に寄せる期待を示すと同時に、その実効的運用に関わる提言を行う場として本シンポジウムを企画しました。この場で示された諸提言が国や地域の現場に浸透し、より理想に近い「野生動物保護管理システム」が構築されることを願ってやみません。

プログラム：

午前の部（9:30-12:20）

9:30-9:40 趣旨説明

9:40-10:10 日本哺乳類学会

鳥獣法改正をどのようにとらえるべきか

（一般社団法人自然環境研究センター 常田邦彦）

10:10-10:40 日本霊長類学会

鳥獣法改正に伴うニホンザル管理の行方 ～科学と現場の課題を考える～

（山形大学 江成広斗）

（10:40-10:50 休憩）

10:50-11:20 日本野生動物医学会

法改正で期待される麻醉銃捕獲の成果と課題 ～アーバンワイルドアニマル問題解決に向けて～（兵庫県立大学／兵庫県森林動物研究センター 森光由樹）

11:20-11:50 「野生生物と社会」学会

次世代の野生動物管理の担い手を創出するには？ ～大型哺乳類を事例として～
（酪農学園大学 伊吾田宏正）

11:50-12:20 関連事例の報告

認定事業者に求められる要件とは？ ～カワウ個体数管理の現場から～
（株式会社イーグレット・オフィス 須藤明子）

(12:20-13:15 昼休み)

午後の部 (13:15-15:00)

13:15-13:30 質疑応答

13:30-14:15 演者と各学会関係者による総合討論

(14:15-14:25 休憩)

14:25-14:40 次なる鳥獣保護管理法と制度設計に向けての提言 I

(日本哺乳類学会から)

～順応的・科学的管理と分業体制について～

(合同会社AMAC 浅田正彦)

14:40-14:55 次なる鳥獣保護管理法と制度設計に向けての提言 II

(「野生生物と社会」学会から)

～国・都道府県・市町村の連携及び自然系調査研究機関の整備～

(酪農学園大学 赤坂猛)

14:55-15:00 挨拶と閉会

総合討論時の各学会からの登壇者：

山田文雄 (日本哺乳類学会哺乳類保護管理専門委員会委員長)

川本 芳 (日本霊長類学会 保全・福祉理事)

浅野 玄 (日本野生動物医学会野生動物保護・福祉委員会副委員長)

赤坂 猛 (「野生生物と社会」学会会長)

高橋満彦 (「野生生物と社会」学会行政研究部会幹事)